



2025 年 7 月 1 日

WOWOW 回線センターに映像収録・監視ソリューション「LogServer」を導入 30 チャンネルの HD 映像を少人数で監視・運用を実現

～海外実績豊富な Mediaproxy が日本の放送現場を変革
トラブル発生時の迅速な原因特定・対応で高品質な中継映像受信をサポート～

IP ベースの映像収録・監視ソリューションのグローバルリーダーである Mediaproxy（本社：オーストラリア・メルボルン）は、民間衛星放送「WOWOW」の辰巳放送センター更新に伴い、映像収録・監視ソリューション「LogServer」を 2 台納入いたしました。現在 30 チャンネルの中継 HD 映像の収録・監視に活用されています。特に海外から映像受信する際の伝送路ノイズ特定に貢献し、PC ブラウザベースの使いやすいユーザインターフェースによって問題発生時の迅速な再送信要請が可能となり、少人数での大量回線運用を実現いたしました。今後当社は、日本市場での認知度向上とさらなる貢献を目指します。

「Mediaproxy」公式サイト：<https://www.mediaproxy.com>

WOWOW は 1984 年に設立された日本初の民間衛星放送会社です。現在、BS 3 チャンネル（WOWOW プライム、ライブ、シネマ）とオンライン視聴サービス（WOWOW オンデマンド）で構成されています。2025 年 1 月現在、WOWOW は約 300 万人の加入者を有し、映画、オリジナルドラマ、海外ドラマ、音楽ライブ、スポーツ中継、アニメ、ドキュメンタリーなど多様な番組ラインナップを視聴することができます。

LogServer システムは、Mediaproxy の正規代理店である日本デジタル・プロセッシング・システムズ株式会社（DPSJ）が納入し、プロジェクトのメインシステムインテグレーターである株式会社テクノハウスと共同で導入実装作業を行いました。この体制により、販売、実装だけでなく、各種問い合わせも日本語で対応できるようになっています。

WOWOW 様からは、「今回構築した設備の大きなコンセプトの 1 つである、大量回線を少人数で運用可能な設備とすること、その実現に LogServer は大きな役割を果たして下さっています。ユーザー目線での機能実装や、ソフトウェアベースでの高い拡張性を評価させて頂きました。また、今回は一部しか使用していませんが LogServer は他にもモニタリング/監視など多くの機能を搭載しており、今後の他設備との連携も含め期待しております。」とコメントをいただいております。

Mediaproxy の最高経営責任者であるエリック・オットー氏は、「日本を代表する衛星放送局である WOWOW 様から、このような重要なプロジェクトに選ばれたことを光栄に思います。弊社は日本市場に対応する体制を整え、WOWOW 様との関係を将来にわたって継続することを楽しみにしています。」と語っています。

Mediaproxy について

2001 年創業以来、世界中の何百人ものエンジニアが、テレビ、ラジオ放送や OTT 配信からのライブ映像を 24 時間 365 日収録、モニタリング、分析、マルチビューイングするために Mediaproxy の統合ソフトウェアソリューションを利用しています。Mediaproxy は、4K、HEVC、SMPTE 2022-6、SMPTE 2110、NDI、HLS、MPEG-DASH、SRT、Zixi、ATSC 3.0、DVB-2 を含む最新のテレビ放送、ビデオ配信フォーマットと規格をサポートし、使いやすいウェブブラウザとモバイルユーザーインターフェースを介して、オンエア障害の分析、コンテンツ検索、広告検証などを一元管理できます。Mediaproxy は、テレビ放送および IP ストリーミング規格に準拠し、クローズドキャプション、ARIB/DVB 字幕、SCTE-35、SCTE-104 もしくはラウドネスなどに関する最新の業界標準をサポートしています。オンプレでもクラウドでも、放送、配信の映像収録、モニタリング、分析機能を一箇所で実行でき、運用の業務効率化に広く貢献することができます。

プレスリリースに関するお問い合わせ

Page Melia PR 社

Ms. Fiona Blake

電話：+44 (0) 7990 594555

E メール：fiona@pagemelia.com